

魚介類中のPCB検査結果（令和7年度）

ポリ塩化ビフェニル(以下、PCB)は生態系の食物連鎖を通じて魚介類に蓄積され、これを食べることによる健康への影響が懸念されています。厚生労働省では、PCBについて暫定的規制値を設定し、食品への汚染を防止し、既にある汚染を減らすための行政上の指標としています。

当所では横浜市内に流通する魚介類についてPCBの検査を行っています。令和7年5月及び10月に中央卸売市場本場で収去した魚介類9種10検体について、PCBの検査を行いました。その結果、表に示すとおりクロムツ1検体から0.01ppm、マアジ1検体から0.02ppmのPCBを検出しましたが、暫定的規制値を超えるものはありませんでした。

表 PCBの検査結果

食品の種類	検体数	検出件数	結果	暫定的規制値
遠洋沖合魚介類	コウイカ	1	0	不検出
	ババガレイ	1	0	不検出
	ヒラメ	1	0	不検出
	マサバ	1	0	不検出
内海内湾魚介類	カンパチ	1	0	不検出
	クロムツ	1	1	0.01ppm
	シログチ	1	0	不検出
	チダイ	2	0	不検出
	マアジ	1	1	0.02ppm
計	10	2		

(検出限界:0.01ppm)

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】